未来につなぐ一歩を。～SDGsの取り組み～

ＳＤＧｓでは貧富の格差拡大による経済問題・社会問題、気候変動をはじめとする環境問題を世界共通の問題として解決に取り組み、誰ひとり取り残すことなく、現役世代、将来世代が共に満足できる世界を目指しています。

農を基軸に、地域に根ざして総合事業を展開するＪＡの活動は、ＳＤＧｓをそのまま体現しているものが多くあります。今回は、ＪＡいずみのが取り組むＳＤＧｓを紹介します。

©みんなのよい食プロジェクト

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

- **1 貧困をなくそう**　あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる
- **2 飢餓をゼロに**　飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する
- **3 すべての人に健康と福祉を**　あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
- **4 質の高い教育をみんなに**　すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する
- **5 ジェンダー平等を実現しよう**　ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う
- **6 安全な水とトイレを世界中に**　すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
- **7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに**　すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する
- **8 働きがいも経済成長も**　包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する
- **9 産業と技術革新の基盤をつくろう**　強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る
- **10 人や国の不平等をなくそう**　各国内及び各国間の不平等を是正する
- **11 住み続けられるまちづくりを**　包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する
- **12 つくる責任つかう責任**　持続可能な生産消費形態を確保する
- **13 気候変動に具体的な対策を**　気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
- **14 海の豊かさを守ろう**　持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
- **15 陸の豊かさも守ろう**　陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
- **16 平和と公正をすべての人に**　持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
- **17 パートナーシップで目標を達成しよう**　持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

参照：「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」（外務省仮訳）https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000101402.pdf

地域農業を守る！-地産地消で農業者を応援-

ＪＡが農産物直売所を運営することで地域の農業者の販路を確保。大規模農業者だけでなく、小規模農業者の所得向上と活躍の場の提供に貢献しています。また、地域で作られた農産物が地元で消費されることで「地産地消」が広まるなど、農産物直売所はSDGsの目標の多くに関連しています。

農産物直売所とSDGsの関わり

- ◎農産物がたくさん作られ出荷。農産者の励みになる。
- ◎安全・安心な農産物の生産
- ◎地元漁協直送の魚売り場（愛彩ランド）

レストランでは地元産野菜たっぷりのプレートランチを提供しています(※)

※感染症対策のため、ビュッフェスタイルは中止しています。

これからの季節は秋の味覚が盛りだくさん

ぜひ　愛彩ランドやJA全農ファーマーズ ららぽーと和泉店の直売部門で「買って」「食べて」応援してください！

9月のおすすめはこちらです！

愛彩ランド 木下店長

ブドウ

地元でもおいしいブドウが採れるんです！贈り物やお供え、ちょっぷり贅沢なデザートに甘くておいしいブドウはいかがですか？

イチジク

地元で作られるイチジクはやわらかくてジューシー！糖度の高い完熟イチジクをぜひご賞味ください

裏面の「加代子先生のcooking」でイチジクのレシピを紹介しています！

こども食堂に食材提供

※感染症対策のため、現在は提供を一時中止しています。

愛彩ランド出荷協力会は月に一度、岸和田市内にある17のこども食堂に地元の食材を提供しています。

連携を約束し　市社会福祉協議会の担当者と握手を交わす岡本出荷協力会会長（右）

食材提供とSDGsの関わり

SDGs達成に配慮した社会貢献債を購入

ＪＡいずみのは独立行政法人国際協力機構（以下JICA）が発行する社会貢献債「JICA債」に投資しました。「JICA債」は平成28年12月に政府が策定・公表した「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」で、SDGsを達成するための具体的施策に掲げられています。

この債券で調達された資金は、開発途上地域の基礎インフラ（上下水、交通等）の開発や社会サービス（職業訓練、健康、教育等）へのアクセス改善、食糧安全保障、雇用の創出等、社会的課題の解決に向けて投融資されます。

SDGsとの関わり

17項目全て

支店ふれあい委員が地域とJAをつなぐ

組合員をはじめとした地域住民とのつながりを深め、支店の事業やＪＡ運営の活性化・円滑化を目的として「支店ふれあい委員会」を組織しています。支店ふれあい委員は、ＪＡ職員やＪＡ女性会と協力して、地域の皆さんに参加してもらう納涼大会や体験教室など、「食」と「農」に関わるさまざまなイベントを企画・開催。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントなどは開催を中止しています。皆さんに安心して参加してもらえるようになったらお知らせしますので、ＪＡ広報誌やホームページでご確認ください。

ふれあい活動とSDGsの関わり

取石支店と高石支店が合同で地域イベント「健幸フェスティバル&高石マルシェ」に参加し地元産野菜を販売

くずのは支店は紙手紙・書道体験教室を開催 作品は支店のロビーに展示しました

和泉支店は地域の認定こども園の園児たちにジャガイモの定植体験を行いました

忠岡支店では地域の病院から講師を招き健康や病気に関する「くらしの安心セミナー」を開きました

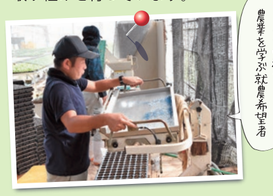
地域農業を守る！-農業者支援・担い手育成-

農業者の平均年齢は66.8歳といわれ、平成30年度の食料自給率（カロリーベース）は全国で37%、大阪府では1%でした。

こういった状況の好転に向けて、ＪＡいずみのでは地域農業振興のためさまざまな取り組みを行っています。

地域農業振興に向けた取り組み

- 農業技術や栽培に関する各種講習会の開催
- コストカットによる生産資源価格の低減
- 相談窓口の常設や農業機械のレンタル、担い手育成（子会社）
- 若手農業者で組織する「青壮年会」
- 農業の仕事をしてみたい方、働き手不足の農業者をサポートする無料職業紹介事業　など



JA子会社で農業を学ぶ就農を希望する者

JA営農指導員（左）が認定農業者やJA出荷組合員を訪問し相談活動を行っています

地域農業とSDGsの関わり

- ◎農業者のレベルアップや生産拡大
- ◎安全・安心な農産物の供給

サポートや相談を希望される方はJAいずみの指導販売課（072-444-8001）へご連絡ください

コロナ禍におけるJA

農業者に向けて国が実施する高収益作物次期作支援交付金の申請受付をサポートしています。また、収入面で影響を受けた農業者の資金相談にも応じています。

このほか、支店や愛彩ランドでの感染対策（消毒やビニールシート設置等）に努めています。

SDGsとの関わり

「食」と「農」を楽しく学ぼう、伝えよう

地元でどんな農産物が作られているか、その農産物はどう調理するのか、地域にどんな郷土料理があるのか、など食べることや作ることの大切さを子どもたちに知ってもらう食農教育活動に力を入れています。

「食」と「農」の大切さを学ぶことは、子どもたちの健康と豊かな心を育むだけでなく地域農業の応援にもなります。野菜に関する絵本やクイズを楽しむことも食育の一つ。ぜひ、ご家庭でも取り入れてみてください。

JA管内の小学生が地元の農産物を使ったレシピを考案！入賞作品を冊子にまとめて管内の小学校に配布しています（ファミリー野菜レシピコンクール）

⬆今年も実施していますので、ご応募の際はお子さんが通う小学校にお尋ねください！

小学生に聞いている「体験料理教室」はJA女性会が調理サポートに参加してくれるなど世代間交流にもなっています

JA女性組織（女性会・フレッシュミズ）と青壮年会が合同で行った食育活動 野菜に関するお話や紙芝居 レクリエーションなどで「食」の大切さを知ってもらいました

JA職員と桃山学院大学の学生とで出張授業を実施 「食」と「農」を身近に感じてもらいました

食農教育とSDGsの関わり

環境にやさしく！

組合員・地域の皆さんの豊かなくらしづくりを目指し、ＪＡいずみのはさまざまな地域の環境保全活動に取り組んできました。

地域に根ざした活動をする組織として、豊かな生活環境を次世代へ引き継ぐことはとても大切です。環境を守るため、私たちにできることはたくさんあると考えています。皆さんにご協力をお願いすることもあると思いますが、地域一体となって環境保全に取り組みましょう。

プラスチック製ゴミ削減のためJA購買店舗と愛彩ランドではエコバッグを推奨しています

地域住民と支店ふれあい委員・JA職員が協力して地域の川清掃を実施（山直上支店　ふれあい活動）

毎月２回　役職員全員で店舗周辺のゴミ拾いに取り組んでいます

年に一度　不要になった農業用のビニールシートやプラスチック資材・農薬を回収しリサイクル業者に引き渡しています

環境保全とSDGsの関わり

安全・安心の提供

ＪＡの生産出荷組合や農産物直売所では、皆さんに新鮮で安全・安心な農産物を届けるため、「生産履歴記帳」を徹底しています。これは、農業者が農薬をいつ・どのように使ったかの記録。生産情報のはっきりした農産物は農業者の信頼につながります。

このほか、ＪＡでは皆さんに安全・安心を届けるさまざまな取り組みを行なっています。

愛彩ランドでは日々の検品に加えて出荷協力会役員による検品を定期的に実施しています

出荷組合員が一箱一箱出来を確認して出荷（いちじく生産出荷組合）

安全・安心に向けた取り組み

- 農産物直売所の出荷者とＪＡ出荷組合の組合員を対象に農薬安全講習会や生産履歴記帳講習会を開催　など

SDGsとの関わり

ジェンダー格差を縮める環境づくり

これまで農業やＪＡは男性が中心でした。今後はもっと女性の意見を生かした運営、女性が活躍できる組織にするべきと考えています。

ＪＡ内部でも仕事と生活のバランスを充実させ、男女ともに働きがいのある風土づくりに努めます。

働きがい向上の取り組み

- 女性管理職、管理職候補者の育成
- 女性職員の平均勤続年数長期化
- 育児休業、有給休暇の取得率UP
- ノー残業デーの導入や業務効率化による残業削減　など

ジェンダーとは性別による役割のこと「お茶くみは女性が」「男性が外で働き家のことは全て女性が担う」などという考え方は今やナンセンスですよね

令和元年度は当JAで初めて男性職員が育休を取得しました！

人事課 川上特命部長

働き方改革とSDGsの関わり